

■米国：連邦債務保証の第1号はサザン社のボーグル原子力発電所

オバマ大統領は2010年2月16日、サザンニュークリアオペレーティング社がジョージア州に建設を予定しているボーグル原子力発電所プロジェクトに連邦債務保証を与えると発表した。この債務保証は「大気汚染物質や地球温暖化ガスの排出量抑制に向けた先進技術プロジェクトに対して供与する」とした2005年エネルギー政策法に基づくものであり、原子力発電所の新設には必要不可欠と認識されている。原子力発電所向けの債務保証枠は米国全体で185億ドルとなっている。対象プロジェクトの選定に長らく注目が集まっていたが、原子力発電所への適用はボーグルが第1号となる。ボーグルは現在2基の原子炉稼働中であり、これに加えてWestinghouse社製のAP1000を2基増設する計画である。総工費は145億ドルと見込まれており、債務保証額はそのうちの83億ドルが対象となる。今後もいくつかのプロジェクトが債務保証の対象に選定されると見込まれているが、債務保証枠が限られているため対象数も制限される。このためオバマ大統領は、2011年度の予算で債務保証枠を現行の3倍となる545億ドルに拡大することを提案している。